

「第4回山都町清和義務教育学校設立準備委員会」での主な意見と対応

	主な意見	対応
1	アントレプレナーシップについて、丁寧に説明してほしい。	委員会内で再度説明。さらに、古賀委員から山都町の課題についての補足説明。持ち帰って、表現について再検討を行ったが、その主旨に関しては賛成意見も多く、より適切な表現はないと考えそのままに。別の箇所で、「多様性」「自尊心が育つ」という要素を盛り込む。
2	候補地について、現清和グラウンドは検討から外されるのか。前回の多数決はどのように反映されるのか。	この委員会での意見を重視した上で、立地の安全面と、建設費用の面を総合的に考慮して、教育委員会において候補地を決定する。
3	校舎の場所が移動することになれば、学童はどうなるのか。安全に学童に行く手段も考えなければならない。	学童、放課後児童クラブは福祉の事業となっているので、建設地が決まった後、福祉と相談していく。
4	図面に給食室がないが、これはセンター化で決まりなのか。自校式の給食には食育の要素もある教育問題でもある。	図面はあくまでもイメージなので、これを持って何ら決定されるものではない。給食は全町的な課題なので、今後も継続して、自校式とセンター化を検討する。
5	設計において、山都町らしさとか山都町ならではのという部分があれば教えてほしい。	現在のイメージ図では、図書室の地域図書館化やメディアセンター化のイメージを盛り込んでいるが、今後の基本設計の段階で、アイデアを出してもらって具体化していきたい。
6	新設する学校は、清和文楽館のように、国道から見える場所で、みんなの目にとまるような場所にしてほしい。	貴重な意見として受け止める。
7	特別支援室が2箇所になっているが、十分なのか。またインクルーシブ教育の観点からも他の生徒と交流できる場所に配置してほしい。	教室数は確保するよう検討する。特別支援教室の設置については、ここの生徒の状況に応じて、インクルーシブ教育の観点も取り入れながら柔軟に検討する。
8	教室に入れない生徒の居場所はどうなるか。年々不登校の生徒が増えてきているようだ。	重要な意見として検討する。